

ふたりの こえを きいて となりに
ずんでいる キリンさんが やってきました。
「どうしたの?」「あのね…」
ふたりは タネが なかなか
そだたないことを はなしました。

「そうだったんだね。 まちには
くわしいひとが たくさん いるから
そうだんしたらいいよ」



ふたりは まちに でかけることにしました。